

各位

会 社 名 日本板硝子株式会社
 コード番号 5202
 本社所在地 東京都港区三田三丁目 5 番 27 号
 代 表 者 細沼 宗浩
 問 合 せ 先 IR 部長 源甲斐 洋行
 電 話 03-5443-9522 (代表)

2026 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 9 日に公表した 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想と本日公表の実績値との間の差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

(百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益 (△損失)	当期利益 (△損失)	親会社所有者 に帰属する 当期利益 (△損失)	基本的 1 株当たり 当期利益 (△損失) (注)
前回発表予想(A)	850,000	31,000	11,000	4,000	2,000	0 円 55 銭
実績値 (B)	879,462	28,817	378	5,511	4,421	44 円 51 銭
増減額(B-A)	29,462	△ 2,183	△ 10,622	1,511	2,421	
増減率(%)	3.5%	△ 7.0%	△ 96.6%	37.8%	121.1%	
参考：前期実績	840,401	16,491	△ 8,525	△ 13,466	△ 13,831	△ 173 円 20 銭

(注)業績予想および前期実績における基本的 1 株当たりの当期利益（△損失）については、A 種種類株式にかかる配当金の影響を考慮した数値を記載しています。

II. 差異の理由

主に欧州の建築用ガラス事業や北米の自動車用ガラス事業で販売価格が上昇した結果、円安の影響もあり売上高は 5 月に公表した予想数値を上回りましたが、厳しい事業環境を反映した低調な販売数量、それに伴う低調な資産稼働率を含む生産効率の低下により営業利益は下回りました。また第 4 四半期にのれんの減損損失を個別開示項目に計上したため、税引前利益は予想数値を下回りましたが、英国における一過性の繰延税金資産計上があったため、当期利益および親会社所有者に帰属する当期利益は予想数値を上回りました。

以上